



WAsia理事・セルフ協会長
阿由葉 寛氏

目次:	
理事より	2
会員より	4
(マカオ、香港、バングラデシュ)	
事務局より	10

コロナのアウトブレイクと 障害のある人への影響



「New Normal(新しい日常)」における
個別トレーニング／マカオ・スペシ
ャル・オリンピックス



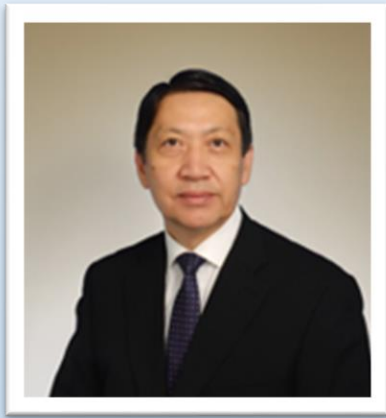
障害のある人たちに米や食品を配布
／BPKS、バングラデシュ



ケーキや焼き菓子のデリバリー／
ネスト・ベーカリー、香港

ともに乗り越えましょう

WAsia理事・セルプ協会長 阿由葉 寛氏からのメッセージ



阿由葉 寛氏

日本では、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が、5月31日まで延長されました。これは、ロックダウンではありませんが、在宅勤務(テレワーク)が推奨され、不要不急の外出自粛や人と人との接触を減らすこと、イベントや飲食店の営業等の自粛要請が行われています。徐々に感染者数の減少も見られるようになってきましたが、都市部の医療状況は依然としてひっ迫しています。

私は、全国社会就労センター協議会会長としての立場のほか、東京から約75キロ北に位置する栃木県足利市で、社会福祉法人足利むつみ会の代表をつとめています。

例えば、私の法人で運営している事業所の一つである、就労継続支援A型の事業所“キッズピアあしかが”は、子供たちが親子で遊ぶことが出来る屋内の遊び場で、知的障害や精神障害のある10名の利用者がスタッフとして働いています。

2月27日から新型コロナウイルス感染症の感染拡大をうけて休業をし、今のところ、5月末まで休業予定です。通常であれば、この間、48,000人の入場を予定していました。

キッズピアあしかが閉鎖前



キッズピアあしかが閉鎖後



この間、ここに勤務する障害者には、休業させるのではなく、館内の清掃や法人内の他の事業所の応援をしていただくことで、通常と変わりなく給与をお支払いし、法人として障害者の生活を支える努力をしています。

また、全国の障害者の就労支援事業所を会員とするセルフ協の会員事業所の報告によれば、この間、深刻かつ大幅な減益の見通しが明らかとなっており、セルフ協では、厚生労働省へ緊急要望書を提出し、障害者の就労支援事業所への支援を求めました。今後も継続的な調査を実施して課題を確認し、要望につなげていきたいと考えています。

キッズピアあしかがホームページ:

<http://www.mutumikai.ecnet.jp/kidspia/index.html>

足利むつみ会ホームページ:

<http://www.mutumikai.ecnet.jp/>

新型コロナウイルスによりマカオの経済は大きく混乱

マカオで初めてコロナ感染の症例が確認されたのは、2020年1月22日でした。さらに多くの海外からの持ち込みと現地での感染が確認されたことから、マカオ政府は、学校の休校、前例のないカジノの15日間閉鎖、マカオへの入国制限など、住民のコロナ感染を防ぐ対策を相次いで発表しました。

これらの措置は、人が集まることを避け、地域でのコロナ感染の抑制を目的とするものでしたが、結果として経済活動の損失をもたらし、人々の生活に深刻な影響を与えました。

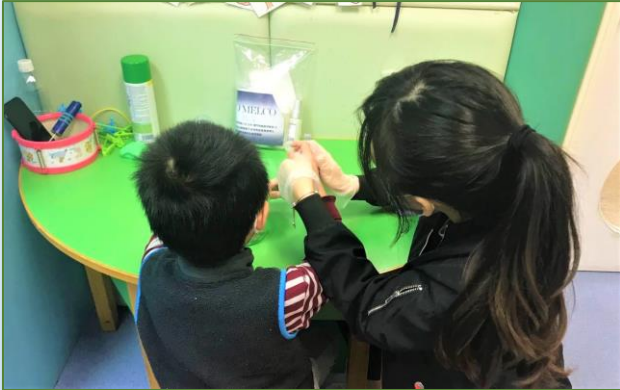


マカオ経済は、大きく混乱しています。一般就労していた知的障害のある人の多くは、パンデミックによって、無給の休職を余儀なくされました。その結果、彼らの収入は大幅に減少し、経済的なストレスを感じている家族もいました。

景気低迷を受けて、マカオ政府は、住民、労働者、企業への支援を拡大する経済支援策を発表しました。障害のある人や経済的に厳しい人々は、政府から追加補助金を受け、経済的負担を一時的に軽減することができました。



通常の職業訓練や就労支援に加えて、パンデミック時には、サービスの柱の一つである家族支援やカウンセリングが利用者にとって非常に重要になっているようです。経済の低迷や社会的な距離をとる対策の下で、利用者は仕事を失い、家に閉じこもっていました。利用者の健康状態や精神状態、家族との関係性が問題になっています。私たちは、利用者の日常生活にさらに目を配り、緊急時にはすぐに対応できるようにしていく必要があると考えています。



5月よりサービスを再開し、個別または少人数でのトレーニングを実施しています。家事代行、ベーカーリー、パソコン教室などを再開して、利用者の職場復帰や就職の準備をしています。また、中等度から重度の知的障害の人には、スポーツ、陶芸療法、美術などの個別のトレーニングを行ない、身体機能の維持に努めています。

一日も早く元通りになり、障害のある人が働く機会を得られるようになることを願っています。



記 : Ron Ng
マカオ・スペシャル・オリンピックス
職業リハビリテーションサービス
マネージャー



私たちの社会的企業と新型コロナウイルス



たくさんのケーキやビスケット

ネスト・ベーカリー

ネスビット・センターは、2013年11月に初の社会的企業であるコーヒーショップ「ザ・ネスト」をセントジョンズ大聖堂にオープンし、その後すぐに80席のF&B企業「Café 8」を香港海事博物館の屋上にオープンしました。2018年11月には、九龍の尖沙咀(チムサーチョイ)にあるセントアンドリュース教会に3店舗目となるコーヒーショップ「ザ・ネスト」をオープンしました。

私たちの社会的企業は、学習障害のある人のために必要とされる雇用を提供しています。実際、従業員の40%に障害があり、そのうち6人がフルタイム雇用に進んでいます。私たちはそれをとても誇りに思っています。

さらなる試みは2019年からでした。パン屋をオープンすることで、自分たちの社会的企業に商品を供給するだけでなく、一般にも販売し、最終的にはより多くの障害者雇用の創出を目指しました。

すべてが順調に進んでいましたが、その後、香港では抗議行動の課題が発生し、すぐに新型コロナウイルスが続きました。しかし、幸いなことに、私たちは心を失いませんでした。

私たちは、2020年4月3日に西營盤に「ザ・ネスト・ベーカリー」をオープンしました。

<https://www.nesbittcentre.org.hk/the-nest-bakery> .



ネスビットセンターの手作りのカード

新型コロナウイルスは、本当に世界中に課題をもたらしました。海外で、最前線の医療スタッフに対する素晴らしい支援を見ながら、「香港で何かできることはないか」と考えていました。そして、私たちの「Cakes for Heroes, baked by heroes (ヒーローが焼いた、ヒーローのためのケーキ)」プロジェクトが誕生しました!! 一般の人々が私たちのベーカリーにケーキを注文し、私たちがそれを病院に届けています。

<https://www.scmp.com/video/coronavirus/3082966/hongkongers-bake-cakes-heroes-thank-medical-staff-front-lines-covid-19>



Adventist 病院へのデリバリー

素晴らしいアイデアであり、それが機能しています。従業員がどのように輝くことができるかを示しながら、私たち全員が自分たちの役割を果たすことができることを示しています。このような革新的な方法で感謝の気持ちを伝えることができます。



ケーキを楽しむ看護師



Rutonjee 病院スタッフのためのケーキ

南アジアの災害の多い国

南アジアの災害多発国であるバングラデシュでは、通常の災害の経験はありますが、新型コロナウイルスは例外的です。これは、全世界の活動を想定外に停止させた人畜共通感染症であるコロナウイルスという新しいウイルスです。その被害の深刻さは、どのような災害や病気とも比較にならないほどのものです。

障害のある人は、どのような災害や病気でも最初の犠牲者となります。今回も例外ではなく、他の人よりも貧しく、自立心が阻まれ、社会的なコミュニケーションや交通手段が整っておらず、またそれらは彼らにとってアクセシブルではありません。全盲の人や盲ろう者、重複障害の人たちの状況は、より悲惨で、無力で、非人間的な状態で生きることになり、最終的には、人々の関心、サービス、支援、施設のほとんどから見放され、数え切れないほど放置されています。しかし、これにとどまりません。これらすべての要因と未知の要因が、コロナウイルスによって障害のある人により深刻な不安をもたらし、その不安が彼らをより大きなリスクに追いやるのが予想されるからです。

BPKSは66人の障害当事者団体のリーダーとコミュニケーションを取りましたが、ほとんどのリーダーは、コロナの心配はしていませんでした。コロナで死ぬということよりも、食料を買う収入がないことと、食料や基本的な非常用アイテムがないために最愛の子どもたちが毎日体重を減らしていることに悩み苦しんでいると言いました。この間、BPKSは彼らに少額の現金と救援物資を配布し、いくつかの食料品と情報をその実施地域で共有しました。



BPKSが立ちあげたTangailとMymensingh 障害当事者団体は、2020年5月に500名の障害のある人に米や食料品を配布した



配布を行なった際、障害のある人の中には、貴重な財産、家畜や家禽などを売っている人がいるのを目撃しました。彼らはまた、自営業の機会を失うなどの大きな損失を被っていました。

BPKSはまた、電話を通じて30の障害のある人の家族に、いくつかの基本的な情報を聞き取りました。コロナに感染した人はいませんでしたが、日々の収入活動をどのように再開していくのかという不安や心配がありました。

例えば、小商い、小規模の事業、自営業、家禽・家畜などです。サプライチェーンやビジネスのつながりが動かなくなったので、9人の人は、日常の収入活動に完全に支障をきたしています。また、それぞれの地域の障害のある11人の店主は、毎日500BDT(6米ドル)から1200BDT(14米ドル)の収入で生活していたけれど、現在はそれが止まっていると述べました。

景気後退は現実的な懸念であるだけでなく、知的障害や他の障害のある人に及ぼす精神的・感情的な影響への対処も難しい課題です。

2人の障害のある人は、道路わきで小さな店を経営していて、材料や商品の安全のために、夜はいつも店の中で過ごしていました。新型コロナウイルスの影響による隔離政策のもとで、彼らは店を閉め、最愛の家族と一緒に自宅にいますが、店は安全な場所にあるわけではなく、自宅から2～3km離れたところにあるので、その間にすべてのものが盗まれ、それぞれ500米ドルから700米ドルの損害が出ているといます。

このような状況に対応するために、BPKSは、新型コロナウイルスに感染した人のリハビリテーションを受ける権利の実現に十分に貢献するための実施計画を策定しました。同時に、障害のある人に、新型コロナウイルスに対する認識と理解を向上させ、適切な政策的保護対策を推進しています。

記: Mr. Abdus Sattar Dulal

Bangladesh Protibandhi Kallyan Somity (BPKS) 常務理事



WORKABILITY

Newsletter

第2号/2020年4～6月

ASIA

新型コロナウイルスのアウトブレイクと障害のある人 出典：国連社会経済局

一般的に、障害のある人は他の人よりも多くのヘルスケア・ニーズ（標準的なニーズと障害に関連したニーズの両方）を持っており、そのため、質の低い、またはアクセスしにくいヘルスケア・サービスの影響を他の人よりも受けやすくなります。障害のない人に比べて、障害のある人は健康状態が悪い可能性が高く、43カ国の中で、障害のある人の42%、障害のない人の6%が、自分の健康状態が悪いと感じています。

障害のある人の健康について、達成可能な最高水準に到達するためには、以下の行動が必要です。

- ・障害者権利条約に即したヘルスケアに関する国内の法律と政策を強化すること。
- ・ヘルスケア施設におけるアクセシビリティに対する障害やバリアを特定し、排除すること。
- ・ヘルスケアへのユニバーサルなアプローチの一環として、障害のある人のための医療保険の適用範囲と支払い可能な負担を改善すること。
- ・障害インクルージョンに関して医療従事者の訓練を行ない、障害のある人へのサービス提供を改善すること。
- ・障害のある人が、インフォームド・コンセントに基づいて、自分自身のヘルスケアの決定をコントロールできるようにすること。
- ・健康保険における差別的慣行を禁止し、支援機器およびリハビリテーションサービスに対する健康保険の適用を促進すること。
- ・障害のある人も含めたヘルスケアシステムを監視、評価、強化するための研究とデータを改善し、障害のある人に提供すること。

障害があるからといって、それだけでコロナウイルスのリスクが高くなるわけではないでしょうが、多くの障害のある人は、特定の基礎疾患を持っているために、この病気はより危険なものになっています。

ホスト国の100以上の障害者擁護団体と、障害者の権利と緊急事態管理の専門家の連合は、最近、新型コロナウイルスの発生と関連する健康上の緊急事態を通して、地域社会において障害のある人が健康、安全、尊厳、自立を維持するために、障害のある人の特定のニーズに対処する緊急の対応を呼びかけました。

http: <https://www.un.org/development/desa/disabilities/covid-19.html>

WAsia ニュースレターでは、記事を募集しています。

- あなたのもっている情報、知識、経験をWAsiaのメンバーや私たちのネットワークで共有してください。
- 記事(1～2 ページ)と写真をお送りください。
- あなたの記事を次のアドレスに、次号のニュースレターに掲載するために、2020年8月15日までに送ってください。 workabilityasia@gmail.com

CONTACT US:

WORKABILITY ASIA

Address: c/o The Redemptorist Foundation for People with Disabilities, Box 11 Pattaya City, Chonburi Thailand 20260

Tel. +66 2 5724042 Ext.8201 E-mail : workabilityasia@gmail.com